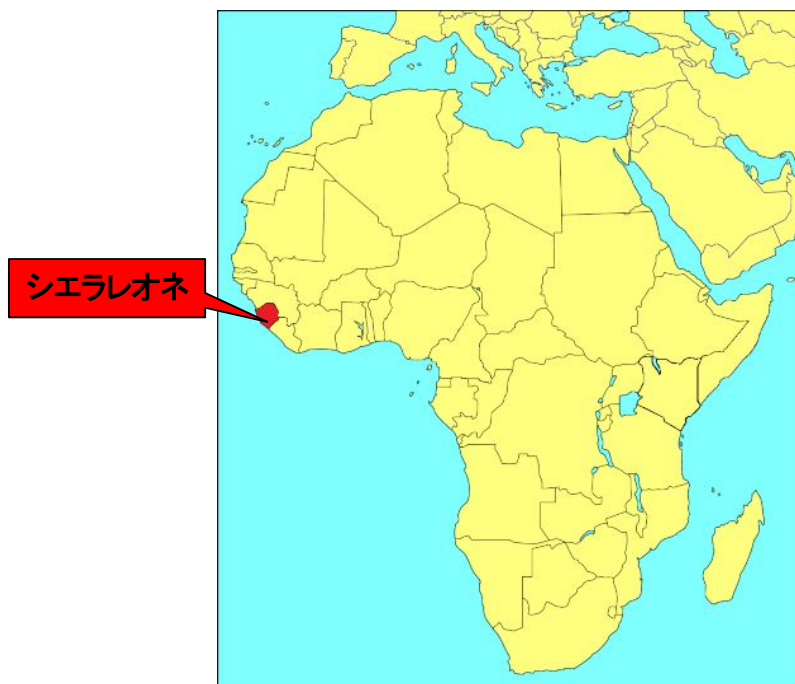


シエラレオネでラッサ熱が発生

2010年10月8日 ProMED 情報(News 24, Agence Franc-Pressé report)



10月8日シエラレオネ保健当局は、ネズミ肉を料理するレストランを運営している女性を含む45名が、過去9カ月間にラッサ熱で死亡したと報告しました。

保健省の国立疾病対策責任者によると、上記9カ月間の野ネズミ(マストミス)によるラッサ熱患者152名が確認されたとのこと。北部の街マケニ Makeni で死亡した女性と6歳の息子に接触した21名が検査を受けました。その他の人々は緊急処置により回復しました。

ラッサ熱は、東部地域の森林から北部のサバンナ大草原で見られ、発熱、咽頭痛、胸痛、下痢、聴力低下をきたします。1969年にナイジェリア北部のラッサ村で初めて患者がみつけられました。現在はリベリア、ギニア、セネガル、およびシエラレオネの僻地などの西アフリカの一部で常在しています。

【ProMED 調整者】

ラッサ熱は人獣共通感染症です。ラッサ熱を引き起こすウイルスの保有は、野ねずみとして一般的に知られているマストミスという齧歯類です。齧歯類はラッサ熱ウイルスに感染していても病気になりませんが、排泄物でウイルスをまき散らします。

予防としてのワクチンはありませんが、早期のリバビリン Ribavirin の使用はラッサ熱の治療に効果的です。